ステークホルダーの皆さまへ

半導体の進化を支える技術変革を追求する

2013年11月、東京エレクトロンは創業50周年を迎えます。

はじめに、日頃より当社を支えてくださっているすべてのステークホルダーの皆さまに対して深く感謝申し上げたいと思います。

2013年3月期は、世界経済の全般的な停滞の影響を受け、当社が位置するエレクトロニクス産業においても、半導体メーカーの設備投資が大幅に減少しました。このような中、当社の業績は、売上高4,973億円、営業利益125億円、当期純利益61億円という結果となりました。配当に関しましては、長期にわたる皆さまのご支援に少しでもお応えするため、創立50周年の記念配当20円を加え、通期51円とさせていただきました。改めて御礼申し上げます。

さて、当社のお客さまである半導体メーカー、フラットパネルディスプレイメーカーの設備投資は長い抑制期間を経て、今年春より回復局面に転じ、当社製品に対する受注も活発化してきております。今後、本格的な上昇軌道に入るものと予測しております。その背景として、短期的には世界経済が回復しつつあることに加え、半導体の在庫調整が進んでいること、中長期的には本格的なグローバルネットワーク時代を迎え、クラウド・コンピューティングが普及していること、そして新型情報端末であるスマートフォンやタブレット型PCが、情報通信インフラの地殻変動を起こし、新興経済圏を含めた世界ベースで、網の目のようにその市場を広げていることが挙げられます。

これらグローバルネットワークを支えるシステムは、音声・画像を含めた膨大な量のデータを休むことなく受発信し、記憶するため、大量かつ高性能の半導体の需要を換起します。ネットワークが拡大・進化すればするほど、半導体を製造する装置に対する高性能および高生産性の要求が高まり、極めて高度な技術革新が必要となります。

東京エレクトロンは強い財務体質を基盤に、ネットワーク時代を根底から支える真のグローバル企業として、半導体の進化と量的拡大を支える技術革新に積極的に取り組んでまいります。

最後になりましたが、私このたび4月より改めて代表取締役社長を拝命いたし、会長職と兼務することとなりました。以下に掲げる経営方針を常に念頭におき、会社のさらなる成長とステークホルダーの皆さまのご期待に応えられるよう、一層の経営向上に努めていく所存です。

1. 技術革新が市場と利益を創造する経営を貫く
2. 顧客第一主義のもと、グローバルレベルで技術サポート力を強化する
3. 現場からトップまで創造性、挑戦意欲、情熱、責任感に満ちた活力のある会社づくりをする
4. ワールドクラスの高収益体質とさらなる成長を実現し、あらゆるステークホルダーの皆さまの期待に応える

皆さまの一層のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2013年6月

代表取締役会長 兼 社長 CEO
東　哲郎